

産業建設委員会現地視察報告書

産業建設委員会

日 程	令和 4 年 7 月 12 日(火) 午前 10 時から 11 時 40 分まで
視察先 及び 調査事項	主要地方道小倉西舞鶴線 白鳥トンネル 国道 27 号西舞鶴道路 上安久高架橋、境谷トンネル
参加委員	今西 克己 (委員長)、尾関 善之 (副委員長)、上野 修身、 鴨田 秋津、松田 弘幸
概 要	
<p><視察に至る背景と目的></p> <p>これらの整備事業は、本市の交通環境の安全性の向上、東西市街地の一体化による活力あるまちづくり及び災害に強い道路ネットワーク網の確立を目指すものであり、本委員会活動の重点事項である「防災・減災機能の充実・強化」にも通じることから、工事の進捗状況を把握するために視察を行った。</p> <p>【主要地方道小倉西舞鶴線 白鳥トンネル】</p> <p><対応いただいた方></p> <p>京都府中丹東土木事務所企画調整課長 舞鶴市建設部国・府事業推進室長</p> <p><調査事項に関する説明の概要></p> <p>本事業は、主要地方道小倉西舞鶴線の慢性的な渋滞を解消し、自転車や歩行車の安全を確保するため、現在の 2 車線道路を 4 車線化するもので、現行のトンネルの拡幅も行う。令和 3 年 12 月 26 日に着工し、総延長 333m で、本年 8 月末に貫通する予定である。</p> <p>通常は、一日に 4 メートル、硬い岩盤では、一日に 2 メートルの掘削を行っており、現在までに全体の 3 分の 2 の掘削を終えた。工事区間の中に、明治 37 年と昭和 25 年にそれぞれ築造されたトンネルが位置しているため、掘削部分にコンクリートを吹き付け、ロックボルトを周辺岩盤に打ち込むなど、それらに影響が及ばないように慎重に工事を進めている。</p> <p>また、地元住民へは、2 ヶ月ごとに通信を作成して配布している。</p>	
	

<委員の所感>

- ・工程表に沿って、きちんと施工管理されていると感じた。
- ・トンネルの掘削現場を見るのは初めてで、貴重な経験をさせていただいた。
- ・トンネル工事で発破を行わずにドリルで掘削するなど、鉄道トンネルへの配慮がなされていた。
- ・地元に対して、工事の進捗をお便り形式で周知する取組は、大変評価できるものである。
- ・一日も早く無事に完成することを願っている。



【国道 27 号西舞鶴道路】

<対応いただいた方>

国土交通省福知山河川国道事務所副所長
舞鶴市建設部国・府事業推進室長

<調査事項に関する説明の概要>

① 上安久高架橋

西舞鶴道路は、市街地の交通渋滞の緩和及び交通安全性の向上、京都舞鶴港や舞鶴西 IC へのアクセス性の向上を目的とするものである。このうち、JR 舞鶴線を越える上安久高架橋では、現在、橋梁の下部工を築造しており、令和 5 年 2 月末の完成を目指している。



工事では、場所打ち杭工法で 2 基、ニューマチックケーソン工法で 5 基の合計 7 基の橋脚を建設する計画であるが、8 月までに 3 基が完了し、残りの 4 基については、令和 5 年 2 月に完成予定である。

現場は民家がすぐ横にあり、また JR 舞鶴線が近接している上、基礎の掘削が 27m と深いため、地盤の変動が起こらないよう細心の注意を払っている。

② 境谷トンネル

境谷地区及び万願寺地区で、合計 4 本のトンネル工事を計画している。このうち境谷地区において、令和元年 5 月から工事用道路の構築に着手し、令

和3年2月に完成、トンネルについては、令和3年8月に着手し、同年12月に貫通、令和4年1月末で掘削を終了した。現在までに、覆工コンクリート、碎石舗装、取付ブロック積擁壁などが施工済みである。



＜委員の所感＞

- ・橋脚工事では、機器の遠隔操作などにより、鉄道や近隣の民家に十分配慮しながら工事を進められていると感じた。
- ・ニューマチックケーソンの設置工法など最新の技術を駆使して、順調に施工されていると感じた。
- ・トンネル工事については、順調な進捗がうかがえた。

＜視察を実施した効果等＞

公共事業においては、それぞれの現場状況に応じた配慮が必要であること、また、自分達の住む街がどう変化し、どう便利になっていくのかについて、工事現場の見学会や、こまめな情報発信など、発注者の工夫が求められていることに気付かされた。

以上